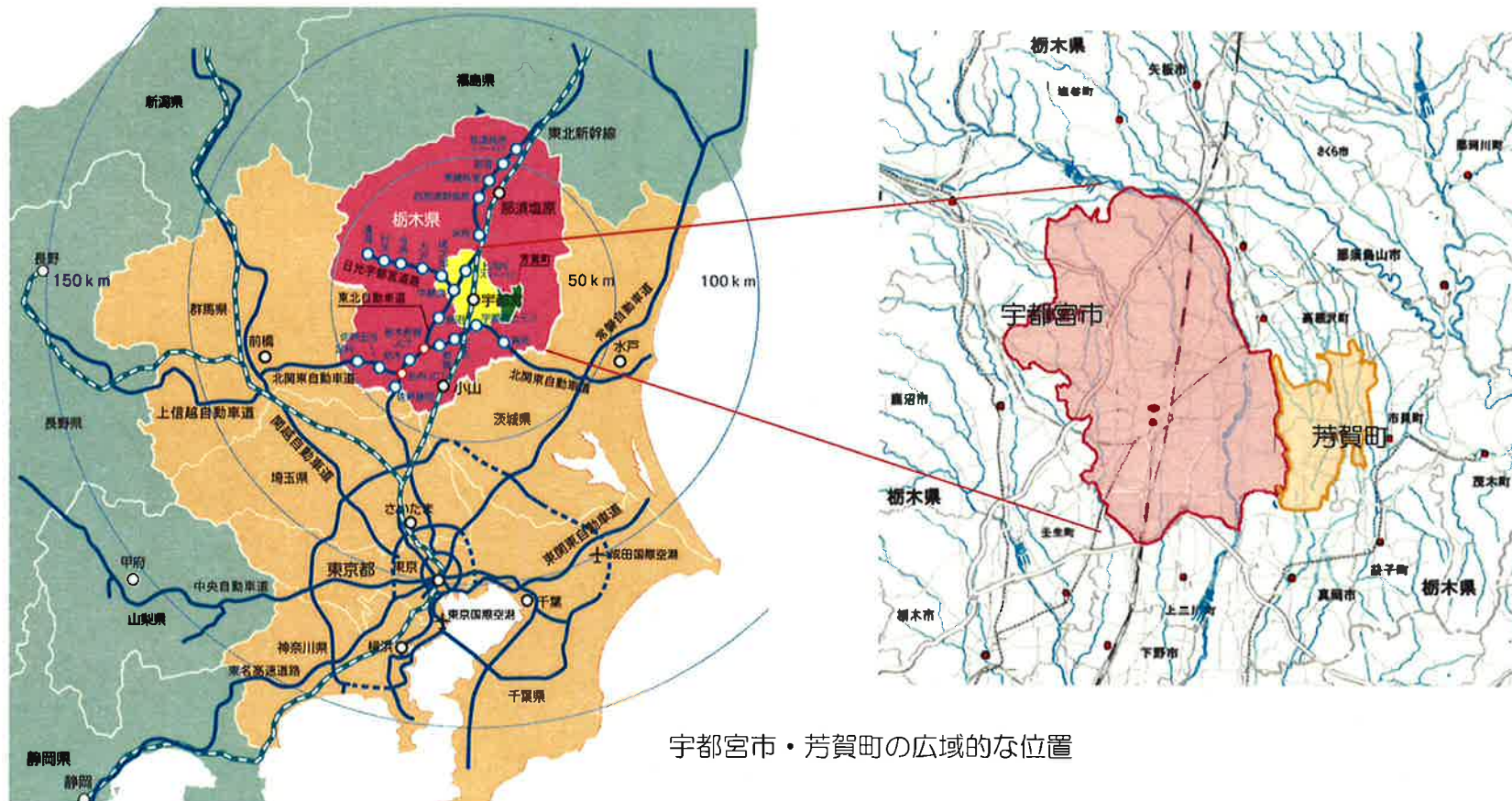


資料 1

申請者の概要

申請者の概要 (宇都宮市・芳賀町) ①

- 宇都宮市及び芳賀町は、ともに東京から約100km、広大で肥沃な関東平野のほぼ北端に位置
- 高台からは南に関東平野の地平線、晴れた日には富士山の雄姿、また、北西には日光連山を望めることができる
- 人口は、栃木県全体の約27% (栃木県197万人 宇都宮市・芳賀町53万人 ※平成28年5月1日現在)
- 面積は、栃木県全体の約 8% (栃木県6,408km²、宇都宮市・芳賀町487km²)
- 交通体系は、南北方向には東北新幹線、東北自動車道、国道4号が通り、東西方向には北関東自動車道が通るなど、主要な交通が交差する要衝
- 平成28年度一般会計当初予算は、宇都宮市が2,053億円、芳賀町が77億円

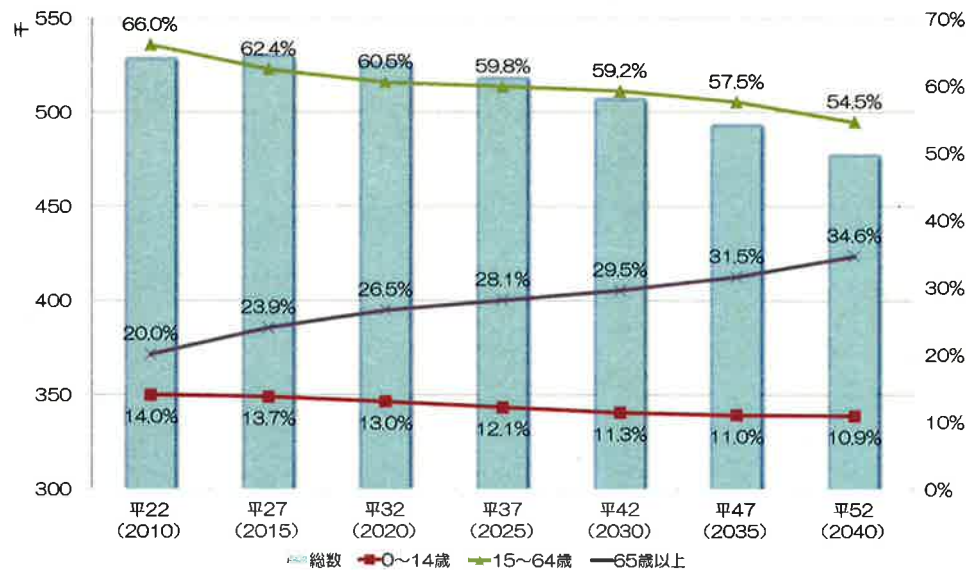


申請者の概要(宇都宮市・芳賀町)②

○人口推移と人口分布

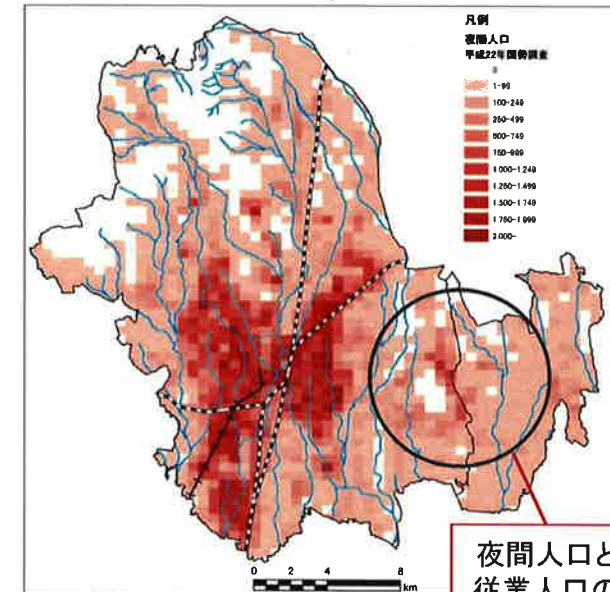
- 総人口は、2015年をピークに減少に転じ、2040年には2015年から約10%減少
- 高齢人口は増加し、2040年には全人口の3人に1人が高齢者となる見込み
- 夜間人口は宇都宮市が約52万人、芳賀町が約1.6万人
- 従業人口は宇都宮市が約24万人、芳賀町が約2.4万人
- 芳賀町は、従業人口が夜間人口の約1.5倍となるなど、東部の工業団地エリアで従業・夜間人口の分布に大きな差

宇都宮・芳賀町の年齢別人口の見通し

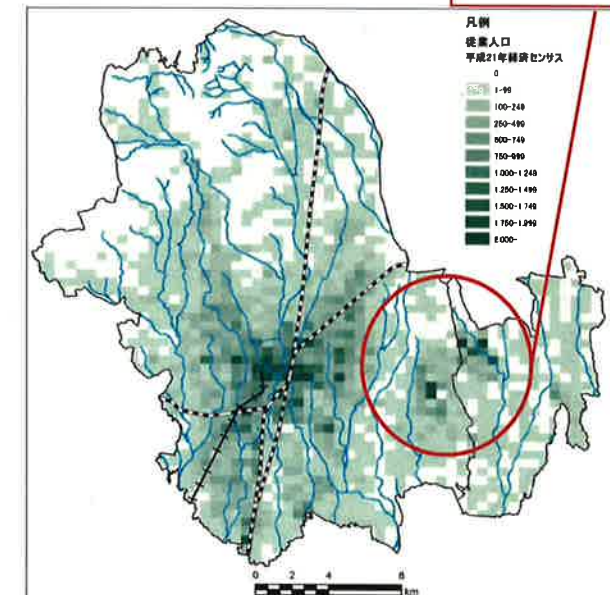


資料：実績値（国勢調査）、推計値（国立社会保障・人口問題研究所）

夜間人口（平成22年）



従業人口（平成21年）



夜間人口と従業人口の差が大きい

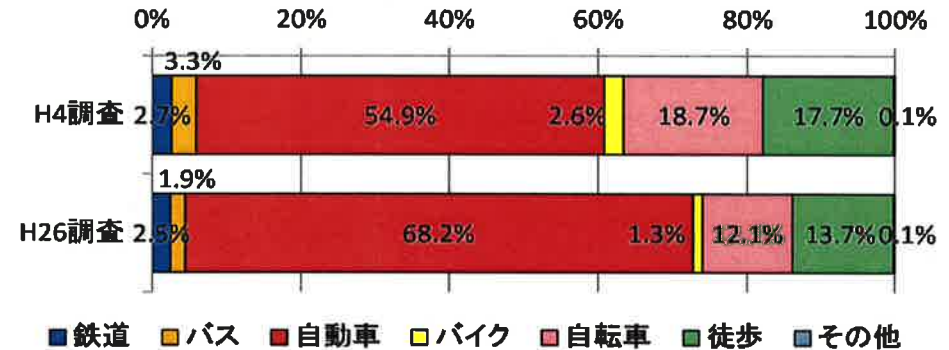
申請者の概要(宇都宮市・芳賀町)③

○交通の状況

【利用交通手段】

- 代表交通手段は、自動車が平成4年の54.9%から平成26年には68.2%と13.3ポイント上昇
⇒自動車への依存がさらに強まっている

代表交通手段構成の推移（全目的）



(出典) 県央広域都市圏生活行動実態調査

【自動車保有台数】

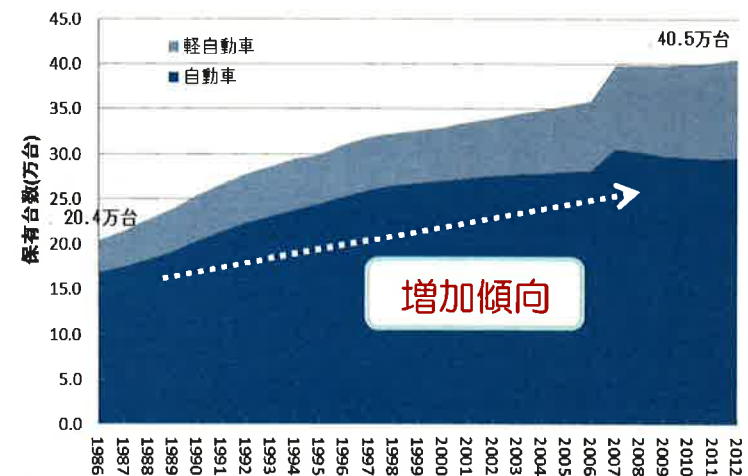
- 人口当たりの自家用乗用車数は、栃木県は群馬県に次いで**全国第2位**
- 宇都宮市・芳賀町の自動車保有台数は**増加傾向**

人口当たり自家用乗用車トップ10



(資料) 統計で見る都道府県の姿2014

宇都宮・芳賀町の自動車保有台数の推移



(資料) 栃木県統計年鑑

申請者の概要 (宇都宮ライトレール(株))

○会社の概要

- (1) 商号：宇都宮ライトレール株式会社
- (2) 代表取締役社長：高井徹(宇都宮市副市長)
- (3) 事業目的：軌道法による運輸事業、
車体、車内広告等の広告業 等
- (4) 設立：平成27年11月9日
- (5) 本店所在地：
栃木県宇都宮市中央一丁目1番1号
- (6) 資本金：1億5千万円(設立時)
(出資割合：行政51%、民間49%)
※開業前に増資予定
- (7) 役員構成：取締役9名、監査役2名
- (8) 出資団体及び出資額(右表)

出資団体及び出資額

出 資 団 体		出 資 割 合	
1	宇都宮市	40.8%	行政 51%
2	芳賀町	10.2%	
3	宇都宮商工会議所	1.0%	民間 49%
4	とちぎライトレール支援持株会	22.8%	
5	芳賀町商工会	0.2%	
6	関東自動車株式会社	10.0%	
7	東武鉄道株式会社	4.0%	
8	東野交通株式会社	1.0%	
9	株式会社足利銀行	5.0%	
10	株式会社栃木銀行	5.0%	
合 計		100.0%	

(※)「とちぎライトレール支援持株会」

LRT運営会社の財政基盤の安定を図り、県内経済の活性化及び広域交通ネットワークの形成に資する目的で地元経済界により設立された持株会 (民間企業26社が出資)

行政と民間がそれぞれの強みを生かし、民間軌道事業者の協力を得ながら、
全国初となる「全線新設によるLRT事業」に取り組む

○民間(地元経済界・
地元公共交通事業者)

→ 意思決定の迅速性、
営業力、開発力など



○行政(宇都宮市・芳賀町)

→ 確実性、安定性、社会的信用など

○民間軌道事業者(5社)

→ 運転要員の養成、技術協力など

○工業団地の概要

- 清原工業団地は宇都宮市で最も規模が大きく9.5千人の従業人口を誇っている。
- 芳賀工業団地、芳賀・高根沢工業団地の従業員数は計21.7千人と、宇都宮市の5つの工業団地（計17.0千人）を上回る従業員数を誇っている。
- 清原、芳賀、芳賀・高根沢工業団地の主要企業は、キヤノン、ホンダをはじめとする世界規模の企業が多く立地し、我が国を代表する工業団地群



清原工業団地



芳賀、芳賀・高根沢工業団地

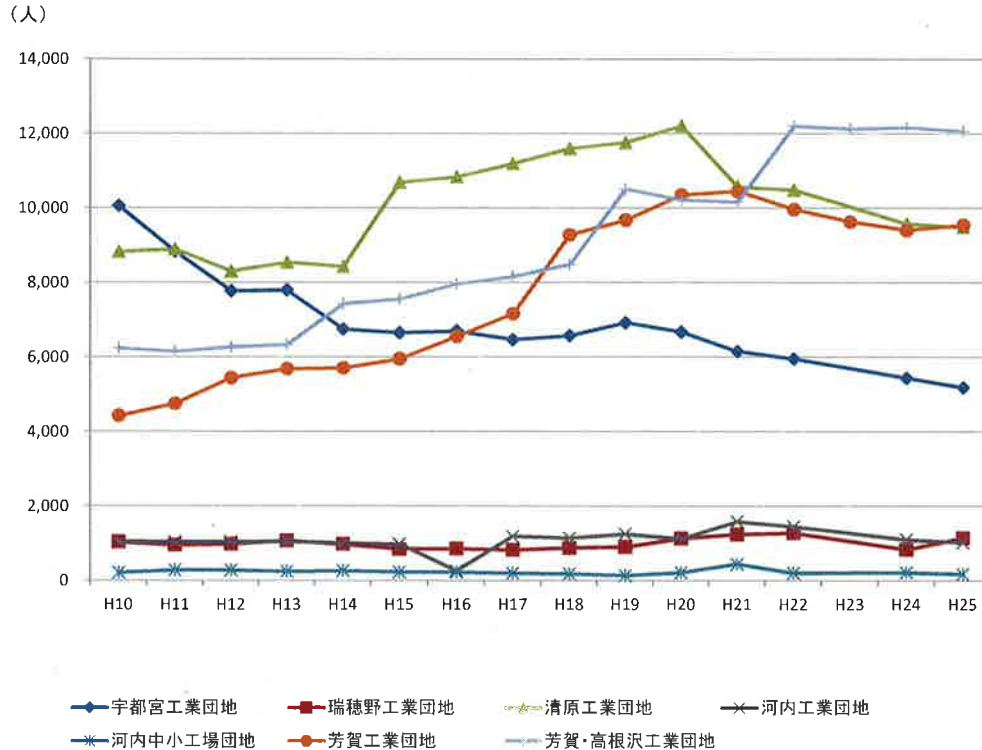
	清原工業団地	芳賀、芳賀・高根沢工業団地
総面積	387.6ha	474.8ha
事業所数	39社（工業統計調査）	約100社（芳賀町資料）
従業者数	9.5千人	約21.7千人
出荷額等	約1兆1,800億円	約1,700億円
特色	<ul style="list-style-type: none"> • 内陸型工業団地としては国内最大級 • 敷地区画が広く宇都宮テクノポリスの中心的工業団地 • 高度技術に立脚した企業誘致が図られている 	<ul style="list-style-type: none"> • 高度な技術を有する企業や、研究所などが立地 • 栃木県高度産業集積地域の中核工業団地
主な立地企業	キヤノン(株) カルビー(株) 中外製薬工業(株) 日本たばこ産業(株) 清原住電(株) 住友ベークライト(株) デュポン(株) マニー(株)	ホンダエンジニアリング(株) (株)ホンダテクノフォート (株)リブドゥコーポレーション 本田技研工業(株) ホンダ開発(株) (株)本田技術研究所 (株)オートテックジャパン (株)ホンダアクセス

芳賀・宇都宮東部地域の工業団地の現状②

○工業団地従業者数の推移

- ・ 県内工業の事業所数や従業者数は減少傾向
- ・ 宇都宮市及び芳賀町の工業団地においても近年は横ばいもしくは減少傾向

宇都宮市・芳賀町における工業団地従業者数の推移

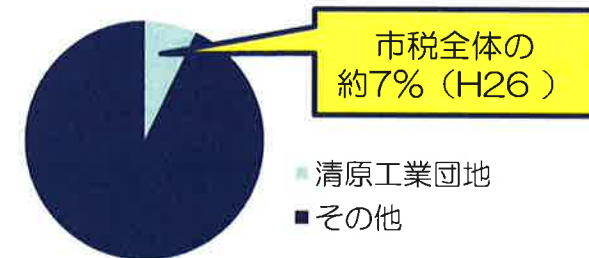


出典：工業統計調査、芳賀町資料（平成23年工業統計調査は未実施）

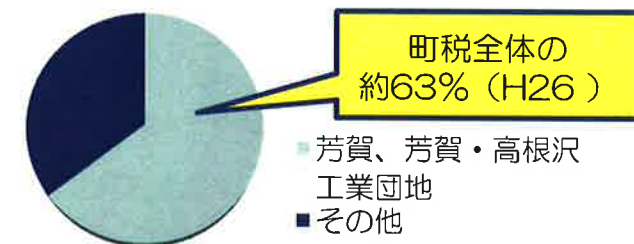
○工業団地の地域への貢献

- ・ 工業団地の従業者の約7割が宇都宮市と芳賀町に居住
 - ・ 宇都宮市では清原工業団地からの税収が市全体（約893億円）の約7%を占める
 - ・ 芳賀町では芳賀・高根沢工業団地からの税収が町全体（約48億円）の約63%を占める
- ⇒工業団地が宇都宮市及び芳賀町の雇用や財政基盤を支える重要な産業拠点

宇都宮市における工業団地からの税収割合



芳賀町における工業団地からの税収割合



芳賀・宇都宮東部地域の交通渋滞

- ・ 鬼怒川で東西に分断
- ・ 工業集積地域が河川の東部に立地
- ・ 人口密集市街地が河川の西部に立地
- ・ 河川を横断する公共交通が脆弱
- ・ 橋の数が少ない

朝夕の通勤時間帯に
深刻な渋滞が発生

駐車場に入るための渋滞



芳賀・宇都宮東部地域の渋滞対策

- 宇都宮東部地域の渋滞解消に向け、行政（国・県や関係市町等）が道路整備に取り組むとともに、工業団地企業は通勤バスなどを運行することにより深刻な交通渋滞を緩和
- しかしながら、依然として通勤ピーク時には道路混雑が発生



課題

○産業拠点の維持・向上

東部産業拠点と都市拠点とを基幹公共交通で結節し、通勤環境の改善を図ることで、工業団地企業の生産環境の向上や立地の継続性確保、市民、町民の雇用の確保など、地域の持続的な発展に向けた産業拠点の維持・向上を図ることが必要

○公共交通空白・不便地域の解消

公共交通空白・不便地域の解消に向けた階層性のある輸送効率の高い公共交通ネットワークを構築するとともに、基幹・幹線公共交通と結節する地域住民の日常生活を支える地域拠点の形成を図ることが必要

将来の公共交通ネットワークの連携イメージ

